

南小で防災体験フェスタ開催

8月20日、防災体験フェスタが南小学校で行われました。南小の5、6年生や保護者、地域住民、自衛隊、消防署、消防団など約150人が参加。ポンプ車を使った消火体験や車両や機材の見学、防火服の着用などの体験活動を通して、防災への意識を高めていました。



野尻中で小林の未来を考える授業

9月5日、野尻中学校で市の課題と活性化の案を考える授業が行われました。3年生が、4人から6人の班に分かれ、まちづくりのテーマを協議。市職員のアドバイスを受けながら「花いっぱいのにち」、 「湧水を使った特産品」などと、多くのアイデアを出していました。



福祉関係者らスポーツで交流を深める

9月8日、あかつき福祉協会主催の第4回秋のスポーツ大会が行われました。同協会の会員らや、秀峰高校、小林西高校や手話サークルなどのボランティアを含め約130人が参加。風船バレーやカーリング式ゲートボールなどの競技を楽しみながら交流を深めていました。



地域防災の中心に、防災士養成研修

9月14日、宮崎県地域防災士養成研修(基礎コース)が行われました。市内外から約40名が受講。自然災害についての講習や災害図上訓練(DIG)などを通して、防災に対する知識や技能を学びました。市在住の防災士は現在79人。100人を目標にしています。



「一人で悩まないで」 市内5店舗で自殺予防を啓発

9月10日から16日は自殺予防週間。この時期に合わせ、市内の5店舗で自殺予防街頭キャンペーンが行われました。こころの健康サポーターやNPO法人こばやしハートムの会員ら42人が参加。店内や入口で、チラシやグッズを配布し、こころの健康と自殺予防を呼びかけました。



こころの健康サポーターの新村君代さんは「誰だって悩みは持っている。一人で悩まず誰かに話してほしい」と話していました

災害から身を守るため 市民防災リーダーを養成

9月18日、小林市民防災リーダー養成講習会がありました。市老人クラブ連合会の会員112名を新たに認定。気象の仕組みや救急法、ロープワークなどの講習を受けました。受講した坊蘭重信さんは「丁寧に教えていただきよくわかった。今後に生かしたい」と話していました。



ロープワークの実技指導を受ける受講者。本結び、巻き結び、もやい結び、節結びの4種類の結び方を実践していました



優勝トロフィーと賞状を掲げ記念撮影。現在、6年生7人、5年生2人の9人で活動しています

初の全国大会準優勝 三松小女子ハンドボール

8月23日、三松小女子ハンドボールスポーツ少年団が全国大会準優勝を市長に報告しました。大会は8月1日から4日に京都府で開催され、全国から34チームが参加。谷口佳帆主将は「準優勝できてとてもうれしい。もっと練習して、次の大会で優勝チームに勝ちたい」と話していました。



メトロオンゲンのボーカル南真方さん(写真左)。MINAMI NINEのベース・ボーカルのヒロキさんとギターのパノさん(写真右)

市出身アーティスト2組出演 第2回「わのしずくFes.」

8月25日、市出身アーティストによるコンサート第2回こばやしわのしずくFes.が文化会館で開催されました。高田修実行委員長は「夢を追いかけることの素晴らしさを感じてもらいたい」とあいさつ。MINAMI NINEとメトロオンゲンの2組が登場し、会場を盛り上げました。

梨とぶどうの品評会開催 今年も出来は上々

8月20日、果樹農業振興対策協議会とJA梨ぶどう生産部会の品評会が開かれました。【以下結果・優等と金賞のみ・敬称略】
■豊水の部▼協議会…種子田健太郎▼JA…永迫賢治■ニューピオーネの部▼協議会…小原勇太▼JA…外種子田和人■シャインマスカットの部▼協議会…前田博俊



梨・ぶどうを審査する様子。同協議会の小原修一会長は「出来栄は例年以上。皆さんにおすすめてほしい」と話していました

身近な歴史の魅力に触れる 野尻地区の文化財を探访

8月21日、市ガイドボランティア協会による文化財バスツアーが野尻地区で行われました。約30人が参加し、東麓石窟仏や歴史民俗資料館など全4カ所を見学。同協会の桜井堅会長は、「小林にはたくさん文化財がある。もっと多くの人に知ってもらいたい」と話していました。



野尻町東麓にある伊集院忠真供養塔での様子。身近な文化財や歴史について丁寧に説明をしていました